

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期企業版ふるさと納税を活用した大野市まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

福井県大野市

3 地域再生計画の区域

福井県大野市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口（現在の市域に含まれる合併前市町村の人口を含む。以下同じ）は、国勢調査によると昭和22年の53,163人をピークに減少しており、令和2年には31,286人となっている。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和27年には総人口が19,179人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は平成2年の7,964人をピークに減少し、令和2年には3,366人となる一方、老年人口（65歳以上）は平成2年の7,055人から令和2年には11,725人と増加しており、少子化・高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も平成2年に26,818人であったところ、令和2年には16,195人と減少が続いている。

自然動態をみると、出生数は平成3年に380人と、400人を下回り、以後も減少傾向が続き、令和6年には110人となっている。一方で、死亡数は平成3年に394人であったところ、令和6年には579人と増加傾向にあり、出生者数から死亡者数を差し引いた令和6年の自然増減は▲469人（自然減）となっている。

社会動態をみると、昭和59年（▲269人）から令和6年（▲140人）まで社会減が続いている。昭和61年から減少幅は縮小傾向にあったものの、平成13年（▲33人）をピークに減少幅が拡大し、以降は年によってばらつきがあるものの毎年100人から300人程度減少している。このように、人口の減少は出生数の減少（自然減）や、転出者の増加（社会減）等が原因と考えられる。

今後も人口減少や少子化・高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、本市では、これまでの取組や市民ニーズ、現状と課題等を踏まえて、今後、下記の基本目標に基づいて具体的な施策に取り組む。

- ・基本目標1 稼ぐ力を育み、持続的に広がる地域経済の循環
- ・基本目標2 安心して住み続けられる生活環境の充実
- ・基本目標3 一人一人が輝き、つながりが広がる地域社会の形成

【数値目標】

| 5-2の ①に掲げ る事業 | KPI | 現状値 (計画開始時点) | 目標値 (令和12年度) | 達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標 |
|---------------------|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------------------|
| ア | 道の駅産直の会商品売上高 | 205百万円 | 252百万円 | 基本目標1 |
| | ふるさと納税寄附額 | 276百万円 | 348百万円 | |
| イ | 市民の生活満足度 | 6.1 | 6.1以上 | 基本目標2 |
| | 人口1,000人に対する出生数の割合 | 3.9‰ | 4.2‰ | |
| ウ | 移住世帯数 | 38世帯 | 40世帯 | 基本目標3 |

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

大野市まち・ひと・しごと創生事業

- ア 稼ぐ力を育み、持続的に広がる地域経済の循環事業
- イ 安心して住み続けられる生活環境の充実事業
- ウ 一人一人が輝き、つながりが広がる地域社会の形成事業

② 事業の内容

ア 稼ぐ力を育み、持続的に広がる地域経済の循環事業

- ・地域資源と新技術を生かした稼ぐ力の向上に取り組む。
- ・新たな挑戦と交流の広がりによる稼ぐ力の創出に取り組む。
- ・稼ぐ力を支える人材の育成と確保に取り組む。

【具体的な事業】

- ・農林水産物の生産・販売の促進
- ・商品開発への支援、販路拡大への支援
- ・企業の魅力発信・向上への支援 等

イ 安心して住み続けられる生活環境の充実事業

- ・暮らしを支える生活機能の確保に取り組む。
- ・安全・安心を守る防災・減災基盤の確保に取り組む。
- ・支え合いによる暮らしの満足感を高める仕組みづくりに取り組む。

【具体的な事業】

- ・最適な公共交通体系の構築
- ・タイムライン作成や避難訓練等の活動支援
- ・市民協働による住民自治の促進 等

ウ 一人一人が輝き、つながりが広がる地域社会の形成事業

- ・多様な立場を尊重し、誰もがイキイキと暮らせる地域づくりに取り組む。
- ・学びや地域との関わりを通じて、つながりが育つ地域づくりに取り組む。
- ・人が往来し、関係が広がる地域づくりに取り組む。

【具体的な事業】

- ・男女共同参画の推進
- ・家庭・地域・関係団体等の連携による教育活動の推進
- ・魅力ある企業の誘致 等

※ なお、詳細は第3期大野市総合戦略のとおり。

③ **事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

④ **寄附の金額の目安**

500,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度6月頃に外部有識者で構成する「大野市総合計画・総合戦略推進会議」により本事業の効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を検討する。本事業の取組状況及びKPI達成状況は、毎年度8月頃に大野市公式ホームページ上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで